

情報コーナー

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」会員募集

アジアを中心とした国の人々との文化交流を図ることを目的に活動しています。定例会のほか、アジア文化講演会、アジアの料理サロンや文化サロン、研修会など各種イベントも楽しめます。外国の文化が好きな方、国際交流に興味がある方、ぜひ一緒に活動してみませんか。

活動日 毎月第3金曜日 午後1時30分から午後3時まで(定例会(会議)、予定)
※その他、年に数回イベントを開催します。
会場 日立シビックセンター
会費 無料(催しにより参加料がかかる場合があります)
お申込み 随時受付(TEL:0294-24-7711)

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー(2022年10月～2023年3月)

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
国際交流ボランティアネットワークくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-34-6257(臼井)
ひたち生き生き百年塾	展示会「太古の地層と日立の岩石展」	11/16(水)～11/29(火) 10:00～16:00	十王交流センター ギャラリー	0294-23-9165
	百年塾フェスタ2022 *part2	2/11(土)～2/12(日) 10:00～16:00	日立シビックセンター ギャラリー — 他	(百年塾サロン)
日立国際交流協議会	日立市・バーミンガム市 姉妹都市40周年記念デジタル 写真展	10/3(月)～10/28(金) 8:30～17:15	日立市役所本庁舎正面玄関 風除室(南側)	0294-22-3111 (日立市文化・国際課)
		11/1(火)～11/7(月) 9:00～22:00	日立シビックセンター1階 アトリウム	
		11/8(火)～11/13(日) 10:00～17:00	日立シビックセンター1階 ギャラリー	
		11/14(月)～11/30(水) 9:00～22:00	日立シビックセンター1階 アトリウム (11/28を除く)	

*新型コロナウイルス感染防止の観点から中止又は内容を変更する場合があります。

活動記録 (2022.4.1～9.30)

- ◆活動推進部会(定例会)
 - 各月第3金曜日 6/17, 9/16
 - ・広報チーム 6/17, 9/16
 - ・料理チーム 6/17, 9/16
 - ・研修見学チーム 6/17, 9/16
- 7月、8月の定例会は中止

- ◆令和3年度会員数 112人
- ◆活動推進部会 31人

編集後記

日立シビックセンターの夏の風物詩である「ひたち納涼寄席」が今年3年ぶりに装いも新たに開催された。その一席で、ある落語家が「3年経つと人は変わるものですねえ……」と。今年は各地で3年ぶりの開催というイベントが多く聞かれたように感じた。3年どころではない、「ひたち国際文化まつり」は今年20回目の誕生日を迎えることになった。当初は手探りで、名物国際屋台村も長蛇の列で、てんやわんやの大混乱の幕開けだった。あれから試行錯誤を積み重ね、参加団体も増えてようやく定着の花を咲かせることが出来ているのでは、と誇らしいものがある。国際文化まつりとして多くの国々のお客でいっぱいになるような、そんな日へと脈々と次の世代へ引き継いでいきたい。(松本記)

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます。 <http://www.civic.jp>

連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで
TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp

ひたちとアジア

第68号

2022年(令和4年)10月

発行: ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

令和4年度 総会開催

第8期3年目事業計画決まる

令和4年度「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」総会は、日立シビックセンター5階において5月21日(土)午後開催されました。コロナ禍により昨年と一昨年の総会は対面での開催が困難となりましたので久しぶりの対面での総会となりました。

総会では、前年度の事業報告が行われた後、今年度の事業計画が承認されました。計画は基本的に例年通りです。

活動趣旨につきましては、チーム制による事業運営の更なる強化と、会員が主体となり活動することが追記されました。今年度は久しぶりに活動テーマ国が「ベトナム」に設定されました。



総会の様子

ひたち国際文化まつりは、20回を数える節目の開催となることから、参加主要団体と記念イベント等を検討してきましたが、11月13日(日)をメイン日とし、前日の11月12日(土)に記念イベントとしてタレントの「モーリー・ロバートソン講演会」を開催することが報告されました。

研修旅行については、コロナ感染の状況を踏まえながら、テーマ国の「ベトナム」に関連する内容で研修チームが中心となり検討することになりました。

サロン事業については、テーマ国の「ベトナム」に関連する内容で料理チームが中心となり検討することになりました。

広報紙は年2回の発行としました。

次に会則の一部改正が審議され、本会の事務の管理運営等の適切な執行等について監査することを目的に、監事2名を置くことが決まりました。

総会終了後の講演会は、「わたしが体験したベトナム」と題し、JICA 海外協力隊としてベトナム村落開発普及員として活動された水戸在住の白澤敏行さんに、実体験にもとづいた興味深いお話をいただきました。

第20回「ひたち国際文化まつり」開催決まる

第20回目となる「ひたち国際文化まつり」がコロナ禍前の形で11月13日(日)に開催される予定です。

昨年11月の第19回「ひたち国際文化まつり」終了後、実行委員会において反省会を行い、合わせて記念すべき第20回をどのような形で開催するかを検討しました。コロナ禍の中でどのような形で行えるかは想定が難しく、状況により密集を避けて展示中心の開催にな

る可能性もあるものの、結論は、記念イベントとして講演会を行うことと第20回の開催に重ねて20の体験型のプログラムを行うこととしました。何とか記念すべき第20回開催が無事に開催されますことを祈りつつ、準備を進めております。

アジア文化講演会開催

「わたしが体験したベトナム」



講師 白澤敏行 (JICA 海外協力隊員、ベトナム村落開発普及員)

5月21日(土)「ひたちとアジアの文化交流を進める会」総会後の午後2時から「わたしが体験したベトナム」と題したアジア文化講演会が開催されました。

内容は、JICA海外協力隊員として活動した現地での活動内容、開発途上国での生活や文化、現地の人々の様子等を講演されました。

講師の白澤敏行(しらさわ としゆき)様は、常陸太田市出身で、2008年9月から2010年9月までの2年間ベトナムに駐在し、森林保護や農家の生活改善、環境保護の啓もう活動を行ってきました。帰国後は、住宅資材の卸売りに勤務され、茨城県産の杉、檜などの木材販売にたずさわり、ご活躍されております。



講演会の様子

また、青年海外協力隊OB会員として、里山植林活動でも活動されております。

まず、ベトナムとは正式名称はベトナム社会主義共和国、首都はハノイで面積は31万平方キロ、日本より少し小さく、人口は1億人弱。1965年から75年まであのベトナム戦争がありました。1975年4月建国の父ホーチミン氏により南北統一されました。南北では食文化も生き方もだいぶ違うようです。生活の事、衣装のこと、観光の事等ベトナムの一般のご家庭にホームステイされて体験し、経験された様々な思い出を、楽しく聞くことができました。知らなかったことを知ること、素敵な講演会でありました。

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と、日立市内の国際交流関連団体との交流記録 2022年2月～

◆日立国際交流協議会 企画部会に参加

4/24 日立市役所202会議室において開催。令和4年度事業としては、外国人向けの無料相談会、施設見学会、日本語・通訳ボランティア口座に加え「外国人のための日立市生活ガイドブック」の改訂をウェブ版で行う予定とのこと。アメリカバーミングハム市との姉妹都市提携 40 周年事業として「姉妹都市提携 40 周年パネル展」を行うとのことでした。

7/14 日立市役所 303 会議室において開催。議題は「バーミングハム市姉妹都市提携 40 周年デジタル写真展について」「外国人のための日立市生活ガイドブックの改訂について」でした。

9/1 ウェブ開催 議題は「バーミングハム市姉妹都市提携 40 周年デジタル写真展について」「外国人向け無料相談会について」でした。

◆国際交流ボランティアネットワークさくら 30 周年記念講演会に参加

7/16 会瀬交流センター 多目的ホールにて開催。講師は常磐大学・常磐短期大学学長の富田敬子氏。ニューヨーク国連本部の経済社会局等に 30 年以上勤務され、SDGs 指標の策定作業にも関わった方とのこと。テーマは「日立・茨城から世界へ 私たちにできること」永年の勤務経験を踏まえ、SDGs 指標の策定の背景等興味深いお話を聞けました。

ウクライナ支援募金活動実施

令和4年3月に日立市議会が「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」を行い、日立市がウクライナ支援募金活動を実施しました。これに呼応する形で、ひたち国際文化まつり実行委員会が主体となり、ロシアの軍事侵攻によりウクライナ国内で被害

にあわれるなど、様々な困難に直面している方々に一日でも早く平穏な日々が戻ることを願い、各団体において募金活動を行いました。ウクライナの国旗をデザインしたオリジナルの缶バッジを作成し、募金をしてくださった方に差し上げました。

3月30日(水)には有志団体が集まり、日立駅中央口駅前広場におきまして、午後4時45分から6時まで街頭募金活動を行い、小学生や通勤時のサラリーマンの方々等から募金を頂きました。最終的に双方合わせて217,016円の募金が集まり、日本赤十字茨城県支部の窓口である日立市役所社会福祉課に寄付いたしました。短期間での募金活動にも関わらず多くの募金が集まり、関心の高さを感じました。ここに改めまして、募金活動に協力頂きました方々に御礼申し上げます。



募金活動の様子

※ 研修会「やさしい日本語の使い方—実践編」開催 ※

2月14日(月)日立シビックセンターにおきまして、日立さくら日本語学校の協力を得て、研修会「やさしい日本語の使い方—実践編」を開催しました。これは、令和3年3月13日(土)に開催した「やさしい日本語の使い方」の続編です。今回は、松浦みゆき校長先生に講師をお願いし基本的な考え方をご指導いただきました。今回は、もう少し実践的な研修会をお願いし、同じ日立さくら日本語学校の梶山菜(しおり)先生の指導のもと、日本語学校の留学生と1対1、もしくは1対2でやさしい日本語で会話を行いました。はじめは留学生から判りませんと言われることも度々で、思ったように伝わらないことを実感しました。徐々にコツをつかみ、少しずつ会話ができるようになりました。

く言う、の最初の文字をとって、「ハサミ」とのこと。有意義な研修で、今後外国人の方々との会話に役立てたいと思います。日立さくら日本語学校の協力に感謝申し上げます。



研修会の様子

やさしい日本語で話す一番の心得は、「ハサミの法則」で、はっきり言う、さいごまで言う、みじか